

感染症予防の意識は高いままですか



上の写真は、いつも使っている手洗い場を写したものです。今日の午前中に撮りました。さあ、昨日までの手洗い場の様子と違うところをみつけてください。三階の手洗い場にも同じ違いがありますよ。

そうです。蛇口の根元についている開栓が、握って回すハンドルから、上げ下げ式のレバーになっていきます。気付きましたか。今日の休校を利用して、全ての手洗い場を職員でDIYしましたよ。なぜそうしたかわかりますか。

四月十七日のメッセージで、H養護教諭について書きました。生徒を絶対感染させたくない、私たち職員の先頭に立って取り組んでいる彼女です。今回も彼女の発案と準備で交換しました。

手で握って回すタイプのハンドルより、指でつまんで上げ下げするだけのレバーの方が感染の可能性が少なくなります。毎日やっている消毒も、レバーの方が簡単で、その分丁寧に組み合います。彼女を初めとして職員は、生徒たちを守らなければならないという使命感を今もしっかりと持ち続けていますよ。

生徒の皆さんはどうですか。学校が再開して一ヶ月。感染症が徐々に心から離れつつありませんか。感染者ゼロの日が続く度に、感染症予防の意識が徐々に心から消えていませんか。

最近の学級での生活はどうでしょう。授業と授業の間に「密」の集団を作っていませんか。マスクを取って仲間と接していることはありませんか。登下校時には、コロナウイルスの恐怖を忘れたように、辺りをはばからずしゃべりながら歩いていませんか。東京では感染者がまだまだ多いようです。感染者の半数近くが感染経路がわからない状態です。私たち教師に負けず、皆さんも感染症予防の意識を高くもつべきですよ。（七月一日 記）